



二所一関



九月場所結果

十一月場所新番付

東10	西79	西44	西37	西11	東11	西10	東9	東71	東27	西16	西7	東3	西37	東25	東2
西原	足立	高橋	谷口	阿龍	林虎	林龍	佐藤	西田	竹岡	花房	嘉陽	和氣の里	宮城	龍王	友風
6 1	4 3	序二段優勝 7 0	2 5	2 5	4 3	4 3	3 4	3 4	3 4	4 3	5 2	3 4	4 3	5 2	2 5

序二段				三段目				幕下							
西72	西48	東45	西36	東35	東90	東87	西80	西44	西43	東24	西4	西45	東30	東16	西8
谷口	阿龍	足立	西原	佐藤	西田	林虎	林龍	竹岡	高橋	和氣の里	花房	嘉陽	宮城	龍王	友風

龍王 自己最高位で勝ち越し、九場所連続勝ち越し

連続勝ち越しを続ける龍王が自己最高位で臨んだ九月も5勝。九場所連続勝ち越しまで伸ばしてきた。懐の深さを活かした上手投げが、前に攻めながらの投げに変身してきた。入門から11年目、稽古を休まずコツコツ努力を続ける苦労人が大輪の花を咲かせる日が近づいている。



高橋が序二段優勝！ 二場所連続V！

高橋が先場所に続いて序二段でも見事に全勝優勝。相撲内容も先場所より安定した内容での優勝であった。アマ時代の実績から考えれば驚きも少ないが、体も一回り大きくなり、力士になってからの成長が大きく伺える。三場所連続Vで一気に幕下上位まで駆け上がるのか、今場所も注目である。



嘉陽が新幕下、林龍と林虎の兄弟が新三段目に昇進

入門から好成績を続ける3人が九月も勝ち越し。それぞれ一つ上の番付に昇進した。大相撲の世界では番付によって普段の装いが変わる。幕下になると博多帯と外套が着用でき、三段目になると雪駄が履けるようになる。親方衆からそれぞれプレゼントがあり、新しい装いで更に上を目指す。



二所ノ関親方の付け人で龍王・竹岡が秋巡業に参加

二所ノ関親方が審判として帯同した秋巡業。付け人として参加した龍王と竹岡は普段とは違う稽古で刺激になった様子。高安関の胸も借りることができ、貴重な経験となったはず。この成果を本場所で発揮して大暴れの予感。



二所ノ関親方の総評コーナー！

九月場所も高橋の連続Vなどで勢いのある場所でした。十一月の番付では序二段の力士が減り、三段目と幕下の力士が増えます。これは理想の形であり、三段目・幕下の層が厚いと稽古場も活気づきます。同世代の力士が多い中、同じ部屋でもライバルとしてしのぎを削る良い環境になってきました。目標である「全員関取」はまだ先ですが、一歩ずつ進めているかと思えます。九州場所の宿舎は一年振りですが、名古屋場所同様に環境が整っている宿舎です。良い環境で充実した稽古をおこない、成績に繋がられるように頑張ります。

中村親方の！ 注目力士コーナー！

今場所は林虎にご注目いただきたいです。林虎の良いところは低い重心からの攻め、そして簡単に土俵を割る事が少なく粘り強いところです。前傾姿勢で左右のおっつけを活かし、圧力をかけられても受け流して攻め返します。相手にとって嫌な相撲をとります。九月の勝ち越しも予想通り、ここまで順調に勝ち進み番付を上げています。来場所は三段目に上がり相手も一段レベルアップしますが堂々と戦えるでしょう。稽古でも幕下や三段目の胸を借りており、目先のことよりも将来の成長に繋がる相撲を磨いています。楽しみな若手成長株です。